

# おだわら

昭和53年

4月

編集・発行 小田原市役所広報課 印刷(株)文進堂

小田原市荻窪・300番地

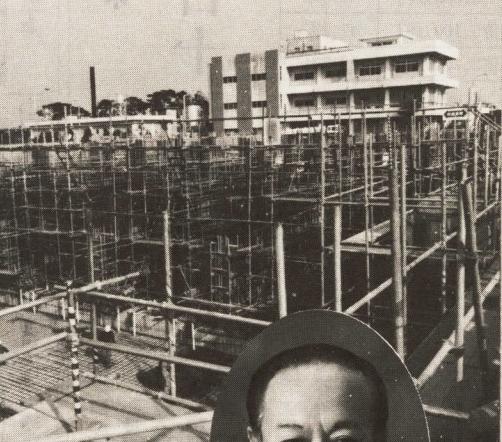
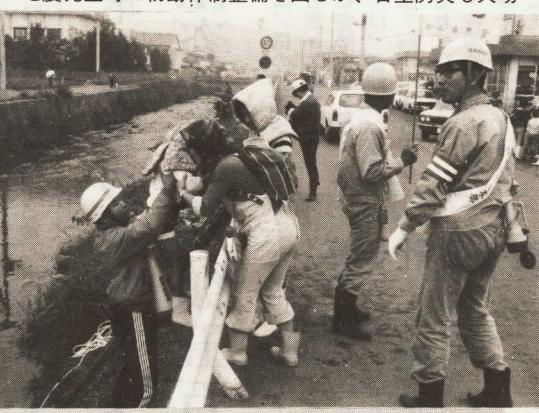
〒250

昭和29年10月15日 第3種郵便物認可 毎月1日発行1部3円

人口 176,352 世帯 48,969

(3月1日現在)

学校施設整備も事業量を拡大し鉄筋化率も上昇



生活環境の向上は下水道事業の整備から

三月六日に開会された市議会三月定期会において、中井市長は昭和五十三年度予算案の上程に先立つて、新年度についての市政の方針を表明しました。その中で、中井市長は、昨年実施しました「市政アンケート調査」に寄せられた市民のみなさんの生活環境についての評価を率直に受け止め、その向上を目指して清掃、住宅、教育、道路、上・下水道など生活に関連する施設の整備を促進するための事業の拡大を図りたいと述べました。

また、我が国の経済情勢の低迷に関連して、本市財政も依然として樂觀を許さない状況にあるため、特に財政の長期性・計画性を配慮して財政調整基金の設置をはじめ、行政内部の合理化・能率化を積極的に推進するという決意を示すとともに、市民のみなさんと手を取り合って新たな発展と飛躍に向かおうと、みなさんの一層のご理解とご協力を求めました。

また、私は市民のみなさんが豊かな生活を安全に営めるよう市民福祉の向上に努めてきましたが、本年度も可能な限り本市独自の施策を伸ばしていく考えです。

昨年実施しました「市政アンケート」の結果、今後市民のみなさんが最も望む社会福祉対策として老人福祉があげられました。そこで、この老人福祉について老人の生きがい対策として昨年に引き続いだ助成についてその充実を図りました。お年寄りの希望の多い保育の助成についてその充実を図った結果、今年度も老人農園の拡張と新設をするとともに、お年寄りの希望の多い保育の助成についてその充実を図りました。

また、市立病院については、運営の改善のための減量運動を実施しましたが、協力で成果をあげました。本年度はこの減量運動がより広範囲になることを願い、新たに減量運動協力奨励費を計上しました。

市立病院については、運営の健全化を図ることも急務ですので、

今年度はこの減量運動がより広範囲になることを願い、新たに減量運動協力奨励費を計上しました。市立病院については、運営の健

本年度はこの減量運動がより広範囲になることを願い、新たに減量運動協力奨励費を計上しました。市立病院については、運営の健

本年度はこの減量運動がより広範囲になることを願い、新たに減量運動協力奨励費を計上しました。市立病院については、運営の健

本年度はこの減量運動がより広範囲になることを願い、新たに減量運動協力奨励費を計上しました。市立病院については、運営の健

本年度はこの減量運動がより広範囲になることを願い、新たに減量運動協力奨励費を計上しました。市立病院については、運営の健

本年度はこの減量運動がより広範囲になることを願い、新たに減量運動協力奨励費を計上しました。市立病院については、運営の健

本年度はこの減量運動がより広範囲になることを願い、新たに減量運動協力奨励費を計上しました。市立病院については、運営の健

本年度はこの減量運動がより広範囲になることを願い、新たに減量運動協力奨励費を計上しました。市立病院については、運営の健

本年度はこの減量運動がより広範囲になることを願い、新たに減量運動協力奨励費を計上しました。市立病院については、運営の健

本年度はこの減量運動がより広範囲になることを願い、新たに減量運動協力奨励費を計上しました。市立病院については、運営の健

## 地震対策を強力に推進

### \*市民福祉の向上

市立病院運営審議会の意見を参考にして医療体制、施設の規模、設備等にかかる病院再建マスター

プランを作成して諸対策を講じています。

市民安全対策については、安全

活動を安全に営めるよう市民福祉の

向上に鋭意努めてきましたが、本

年度も可能な限り本市独自の施

策を伸ばしていく考えです。

私は市民のみなさんが豊かな生

活を安全に営めるよう市民福祉の

向上に鋭意努めてきましたが、本

年度も可能な限り本市独自の施

策を伸ばしていく考えです。











第31回

## 市美術展

5月31日~6月4日

奮って力作をご応募ください

教育委員会は、三月四日付けをもって次の物件を市の重要文化財に指定しました。今回の指定は、「小田原の道祖神」や「玉宝寺の五百羅漢」のような民俗資料、民俗信仰資料を初めて取り上げたところに特色があります。

これで、市の指定文化財は五件を数え、国や県の指定のもの

農聖と仰がれた郷土の偉人・宮尊徳翁の立像が、柏山の尊徳記念館庭園内に完成し、三月三日にそ

の除幕式が行われました。

この銅像は、高さ一八二センチ

の身丈で、年齢五十六歳当時の

尊徳翁が村を復興指導のため巡回

している姿です。

今までにみなさんにおなじみの

たき木を背負って歩いている金次

郎像とは違つて全国でも初めての

尊徳翁が村を復興指導のため巡回

している姿です。

今までにみなさんにおなじみの

